

下山地区データ (7月1日現在)		
人口	4,236 人	(-104)
男性	2,105 人	(-62)
女性	2,131 人	(-42)
世帯数	1,658 世帯	(-17)

※ ( ) は、前年同月比

子どもと一緒に  
みんなで学ぼう



教育

### 花山小学校の総合的な学習 ささゆりの花鑑賞体験



▲ ささゆりの花



▲ タブレットを使って写真撮影する様子

6月22日、花山小学校の特別支援学級ささゆり1組、2組が地域コーディネーターに協力を依頼し、「ささゆりの花鑑賞体験」を行いました。

担任の塚田先生に企画の経緯を伺うと、「これまで当然のように使ってきた学級名『ささゆり』が貴重で大切な花だということを見守は知らない。そこで、実際に見て、学習しようと思ひ立ち、今回の鑑賞体験を企画した。」とのこと。

児童は、ささゆりがどのような花かを事前に勉強し、鑑賞会当日は、タブレットを使って花を観察しながら熱心に写真、動画を撮っていました。

また、近くの田んぼでかえるやアメンボなどの生き物を観察していました。

体験を終えた児童からは、「実際に見られてよかった」、「すごくきれい」などの声が上がりました。



▲ ささゆり学級と地域コーディネーター



▲ 田んぼで生きもの観察

顔の見える地域をつくらう



地域内交流

### 下山支所の敷地内にもささゆりの花が咲いていました

豊田市シルバー人材センター 下山支所の西側にある群生地にもささゆりの花が咲いていました。

この場所は、下山交流館の自主グループ「ささゆり下山保存会」が手入れ、管理を行い、毎年6月中旬ごろに花を咲かせています。

【問合せ】

下山交流館 電話：0565-91-1650



しもやま支所だよりは、豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>



編集・発行／豊田市役所下山支所／毎月15日発行／〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1  
TEL: 0565-90-2111 / FAX: 0565-90-3344 / E-mail: shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp  
地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を支所だよりに掲載しませんか！



## 令和3年度 わくわく事業活動団体追加募集のお知らせ

令和3年度下山地区わくわく事業の追加募集を行います。募集要項及び申請様式等は、下山支所または豊田市のホームページで取得できます。

なお、予算がなくなり次第、受付を終了いたしますので、申請予定の方は、事前に下山支所地域振興担当（下山地域会議事務局）までお問い合わせください。

募集期間：令和3年8月16日（月）～令和3年11月30日（火）

補助額：1団体25万円以内

審査会：申請した翌月の地域会議で書面審査

応募方法：必要書類を下山地域会議事務局へ提出

問合せ：下山支所 地域振興担当（下山地域会議事務局）

※問合せ先は、表紙の下段をご覧ください。



豊田市ホームページ



## 令和4年度 わくわく事業の募集・審査時期を変更します

令和4年度の募集から募集期間、審査会の日程が変わります。応募資格・要件等は変わりませんが、申請予定の団体は、今後発表される情報をお待ちください。

令和3年12月15日号のしもやま支所だよりで募集、審査の詳細を掲載予定です。

	令和3年度事業まで	→	令和4年度事業から (予定)
わくわく事業の募集	3月中		1月中
審査会の開催	5月中旬		3月中下旬
補助金交付決定通知の発送	5月下旬		4月上旬



## 農地の管理に農作業受委託システムをご活用ください

「下山農作業受委託システム」は、平成31年4月に下山地域営農協議会が開始した取組で、耕作できない農地（水田）を登録農家が代わりに耕作し、委託した人が決められた料金を支払うものです。

委託可能な項目は、①耕起作業・代かき作業、②田植え作業、③稲刈り作業（乾燥・調整は、JAライスセンター扱い）です。

自作ができない方、農作業を頼む相手を探している方など農作業にお困りの方は、ぜひ「下山農作業受委託システム」をご活用ください。

【問合せ】JAあいち豊田 下山営農センター

電話 0565-90-2036



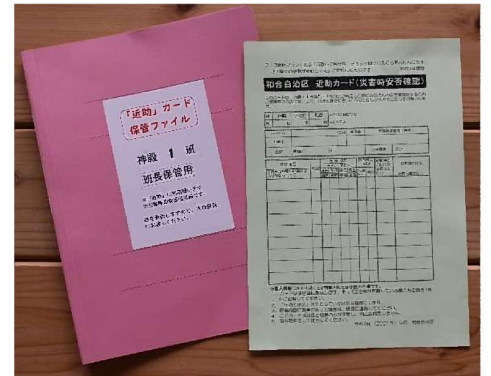


## 住民同士の支え合い体制の整備 「<sup>きんじょ</sup>近助カード」の配布

和合自治区は、しもやまスマイルプランの自治区プランに位置付けた「<sup>きんじょ</sup>近助カード」を配布しました。

このカードは、「向こう三軒両隣（班単位）で助け合う」ことを目的に、災害時の安否確認や日頃の困りごとがあったときに使用し、地域住民同士で支え合っていくものです。

川合区長は、「自分たちが住んでいる自治区が「みんな元気でやろまいか!」と無理なく楽しく、前向きで住みよくするために、自分たちが自治区のために何ができるか考えることが重要。」と仰っていました。



▲管理ファイル（写真左）と配布した近所カード（写真右）



## 集落活動応援隊が林道整備にボランティア参加



7月18日（日）、「集落活動応援隊」の隊員4人と地元住民16人が梨野町で林道沿いの草刈りを行いました。

「集落活動応援隊」は、過疎や高齢化により集落が単独で行うことが困難となった共同作業を応援するボランティア組織で、おいでん・さんそんセンターが運営事務局となっています。また、共同作業を通じた人材交流、コミュニケーションも目的の一つです。



梨野町での受け入れは、今回で5年目となり、休憩中には刈払機や獣害などを話題に積極的なコミュニケーションが図られていました。

対象地域は、小規模で高齢化が非常に進んだ集落で、受け入れが集落の活動として合意されている地域です。

詳しいご相談は、下山支所地域振興担当（表紙の下段を参照）へお問い合わせください。



## 下山中学校の1年生に向けて定住の取組を講演

6月28日（月）、下山中学校の第1学年の生徒が「もっと魅力的なまち下山」の提言を目指し、ふるさと下山の魅力や課題の把握をするため、地域見学を行いました。

その一環で、2戸2戸作戦宅地分譲事業を実施した神殿町西本郷で松田敏明さんが定住に関する講演を行いました。

松田さんは、「限界集落だった他市のある地域がついに崩壊集落になり、危機感を感じ、定住の取り組みを始めた。大切なことは、住民全員が受け入れる姿勢を整え、何ができるか考え、行動すること。」と話していました。

話を聞いた中学生の代表は、「この集落を維持するために、様々な工夫をされていてすごいと思った。」と感想を述べていました。





## トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が地域貢献活動を実施

ラグビーチーム トヨタ自動車ヴェルブリッツ所属の選手が下山地区で地域貢献活動を行いました。7月7日（水）は、朝7時から花山自治区の交通量が多い場所で、通学する児童の見守りを行いました。7月13日、14日には下山中学校と共働で古くなった木製の椅子やテーブルの塗替作業を行いました。

中学生との作業では、選手をニックネームで呼ぶなどし、積極的にコミュニケーションをとりながら、楽しそうに作業を進めていました。



▲7月7日 見守りの様子



▲7月13日 塗替作業で机と一緒に運ぶ様子



▲機械で表面を綺麗にする様子



## 豊森なりわい塾が羽布自治区でフィールドワークを実施

「豊森なりわい塾」とは、農山村をフィールドに、実際に「あるく・みる・きく」ことを通して学び、人と人、人と自然を結びつけるプロジェクトです。

2009年から始まり、今年は市内外から20人が第10期生として入塾しました。

塾生たちは、6月26日（土）、7月17日（土）に羽布自治区を訪れ、安藤実区長、原田安太郎さん、安藤隆久さんが地区内を案内しました。

原田さんが管理している山を始め、自治区内を巡り、山の手入れの意味とその大変さなどを学びました。

塾生からは、自治区のお祭りや農林業、豊かな自然の歴史や現在について様々な質問が飛び交い、今回のフィールドワークで下山地区を移住先として興味を持つ塾生もいました。その後の話し合いでは、「山林から供給される飲み水や、大雨の際に果たす貯水機能への感謝」や「恩恵に授かっているが、ありがたみを意識することの少なさへの危機感」などが挙げられました。

次回は、8月22日（日）に羽布自治区で「食と農」についてフィールドワークを行う予定です。



# 下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時  
(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人 豊田市文化振興財団



今年もきれいに咲きました！

ささゆり下山保存会さん  
ありがとう！！



今年も可憐な  
ささゆりが、丘を  
彩りました。中には一本に6輪も  
の花が咲いているものもありまし  
た。見ごろの時期(6月中旬)には  
地区外からも多くの方が鑑賞に  
来られました。大沼小学校1・2年生  
の児童12名も、ささゆりを楽しみ  
ました。



## ささゆりカウント数

年度	開花	苗	計
2017	217	326	543
2018	186	401	587
2019	137	628	765
2020	163	626	789
2021	184	533	717

開花までに7年もかかりま  
す。グループの地道な活動  
の成果です。



## ボランティアスタッフ募集

### しもやまスマイルフェスタ



今年度はコロナ対策を踏まえた内容で、地元しもやまを  
感じられるイベントとして開催します。

★スタッフとして、フェスタをサポート  
して下さる方をお待ちしています



当日はこんなお手伝いがあります。

- 受付、案内、スタンプラリー
- 各部門の準備、片付けの補助
- 各会場への誘導



## 工房探訪

=ハンドメイド講座講師の工房

『木花器の雅屋』を訪ねて=

鈴木雅弥さんの工房です。

材料は、主にカイヅカイブキを  
使用。木の形から作品を想像し、  
削っていきます。とてもきれい  
な木目です。



丸のごやボール盤などで成型して

磨きます。この磨きが特に重要！

7月31日開催の講座では、特にこの磨きを中心に  
作品を作りました。

次号では講座の報告をします。お楽しみに♪

## ロビー展示作家さん大集合！

6月のロビー展示で出展された西尾良枝  
さんによる『ボビンレース』実演会と、伊藤  
麻美さんの『がま口』展示即売会、鈴木滝子  
さんの『はがき絵』にまつわるお話を6月  
26日に開催しました。



※ボビンレースを一緒に  
作ってみたい方募集中！

※がま口オーダー  
可能です

作品に対する作家の思い  
を知ることができ、来館  
者の方にも好評でした。



二百年以上も続いている

# 阿蔵の念仏踊り

絵と文 ねむねむ



阿蔵の念仏踊りのいわきを調べるに、国学院民族研究会の昭和31年の調査で話してくれた村のおじいさんのお話を、百五十年前、今からだと二百年以上の昔(文七年間)悪熱病が阿蔵に流行り村人が病気で平癒の願かけを、お宮へ疫病退散の牛頭天王の神様へ、お寺(福寿院)は江戸期迄お宮があった(今は病難救済の業師如來と)先相様へ、弘法堂の弘法や業師如來...各所の観音様へと村の全ての神様仏様に悪病退散を祈り巡ったと云ふ。すると病魔が退散して村が甦ったと云う。村人はと云ふはそれは感謝して、神様仏様へ先相様に感謝を伝えようと自分たちの祈りと共に、念仏和讃の歌と踊りを捧げることでありがくうの豆持ちを伝へようとした。

旧暦七月十四・十五・十六日のお盆の、先ずはその年の新仏の家を巡り、祈り、太鼓踊り、手向け、和讃、踊り、二ヶ所ずつ作法通りに祈り歌い踊ること、お寺(福寿院)、四ヶ所の弘法堂、六ヶ所の観音様、とて産土神のお宮をめぐり、須賀神社と願かけをした全ての処へ三日かけて巡り祈り歌い踊りお盆の供養をするようになった。

それから二百年以上の年月、続けられていた年があったり、ほとんど盛大に新しい形を取り入れたり、遂に巡る所を減らしたり、その時の人々の想いで念仏踊りは続いて来た。今ではお盆の一日となりましたが八月十五日近隣の協力も頂いて小学校跡地で踊らされます。

先相様はよくお話で見て下さるからな...

